

展示会場を視察され、恐竜ひょうたんについて児童に質問する秋篠宮さま
 12日午後、福井市のハピリンホールで（山田陽撮影）



秋篠宮さま 児童と交流

福井でヒョウタン作品展

全日本愛瓢会あいひょうかいの「第50回福井県福井市大会」に合わせ、福井市のハピリンホールで12日に始まったヒョウタン作品展の展示会を訪問した秋篠宮さまは、恐竜の形の作品を手がけた地元児童と交流し、全国各地から集まった作品180点を鑑賞された。

〇面参照

（宋田楓登）

秋篠宮さまは、勝山市鹿谷小学校の児童から恐竜形の「恐竜ひょうたん」の歴史や作品を作る手順の説明を受けた。児童14人は、地区住民が石川県から持ち帰ってきた恐竜形のヒョウタンが始まりといった話や制作過程を紹介し、12作品を披露した。

秋篠宮さまが「どの作業が難しかったですか」と質問すると児童はヒョウタンの中を洗う作業で「臭いがきつくて大変でした」と答えていた。「名譽総裁秋篠宮賞」を受賞した作品も鑑賞し、ヒョウタンの内側の皮を残して光を透かした手法に「今までと違う技法ですね」と感想を述べていた。

展示会は13日まで。